



「あじさい咲く、供養塔」

あじさいの部 銀賞 日野市 設楽 誠一



# 御朱印

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田純一

新天皇のご即位にともない、平成から令和になった五月一日、新しい時代を迎えた高揚感から国内は祝賀ムードにつつまれ、各地では関連する催し物が行われました。また、初めての十連休ということでも海外や国内の旅行を楽しむ方が多くいた反面、長い休みにとまどう方もおられたのではないのでしょうか。

当山では例年にくらべて大勢のご参詣の方で賑わい、特に四月三十日には平成最後の御朱印を、五月一日には令和最初の御朱印を求めて長蛇の列が出来、待ち時間が三時間以上となる混雑ぶりでした。約六名の僧侶で御朱印の浄書にあたっていましたが、腱鞘炎になる僧侶もおり大変な二日間となりました。因みに連休の間に、六〇〇以上の御朱印があつたことをご報告致します。

五・六年前より御朱印を求めの方が多くなつた気がします。以前は、主にご年配の方が御朱印を求められていたのですが、近年は特に若い方が非常に多く、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の隆盛とともにこの御朱印のブームを担っていることが実感されます。

御朱印の起源には諸説ありますが、一説には鎌倉期に始まつた日本回国大乗（にほんこくにたいじやう）妙典（みょうてん）六十六部経聖の「納経請取状」に遡るとされています。これは、「法華経」七巻を六十六部写経し、日本全国六十六ヶ国をめぐって、各国を代表する寺社に一部を納経する聖（行者）がおり、納経した確かな証明として「納経請取状」を受け取るというものです。これが江戸時代になると納経帳に記帳押印してもらつたという、現在のような御朱印帳の形式となり、四国八十八ヶ所や西国三十三ヶ所観音霊場の間でも広がつていったと考えられています。

当山では、四国八十八ヶ所はあまりにも遠方で、参加をためらう方のために、昭和四十六年より新四国多摩八十八ヶ所めぐりを行つており、例年、四月より十月まで、七回にわけて巡礼をしています。その際、お堂の前で『般若心経』等をお唱えし、その上で八十八の寺院から御朱印をいただき、参加した方にお渡ししております。

そもそも巡礼による御朱印には、善い行いを作すことにより、これまでの罪を滅し、来世の安寧を願ひ、その証明をいただくという意味がありました。現在のブームでは、その目的や意味合いは多少違ったものとなっておりますが、寺社仏閣にやすらぎを求め、神仏にご加護を願うということにかわりはありません。そこで、御朱印をいただいたならば、まずは自分を振り返るとともに、自分にかかわるすべてに感謝をすることが大事ではないでしょうか。

# お不動さまの心——(一〇五) 現代の世相から (65) 廣澤隆之

最近、身体の衰えをしみじみと感じています。そして心も老化していることに気づきます。というのも、昔のことを思い出している時間が多くなっているからです。若さとは未来へと自分を衝き動かす力があることです。そして老いると未来に向かうエネルギーが失われ、過ぎ去った時代への郷愁がつのるようになります。そして懐かしく思いつかせるのは幼い頃の家族や遊び仲間、そして遊び回っていた山や川などの風景です。故郷は単なる出身地をいうのではなく、過去を懐かしむ心の中にあるといえるでしょう。昔を思い出さず中に故郷があるとしたら、故郷とは人生という時間の中に夢のように浮かび上がる幻影かもしれません。有名な唱歌「故郷」ではその過去を懐かしむ心を「夢は今も巡りて」と詠っています。

このようなことを考えていて、ふと気づいたことがあります。故郷が人生に大きな意味を与える文学が明治半ば以降から大正時代にしばしば見られるということです。ちなみに唱歌「故郷」

は大正三年に発表されています。「志を果たして、いつの日にか帰らん」と詠うように、東京で懸命に生きる人が振り返って懐かしむ場所が故郷なのです。このように東京は人生の目的を果たす場所、働く場所であり、故郷が遠く感じられたようになります。

このように故郷が強く意識されたのは、明治から大正という時代にめざましく日本が近代化したことと関係します。というのも近代化とは産業の発展と表裏をなしますが、それはまた労働者が集中する都市が形成され、田舎から都会への人口移動がめざましく増加することでもあります。近代化ということは故郷を離れること、そして故郷を失うことにもなっていたのです。



「地蔵菩薩像」  
安土・桃山時代

都市労働者が増え続けるという痛切な嘆きは、明治から大正時代の日本の近代化における問題だけではなかったのです。すでに日本より早く近代化を進めた西洋では「故郷喪失」は深刻に考えられていました。そして真実の故郷を求める思想・文化運動も起こりました。有名なグリム童話もゲルマン民族の古い民話をグリム兄弟が集めたものです。それはドイツ人の魂の故郷を求める運動がもたらしたといえます。このように近代の故郷は都会から地理的に遠い田舎であるということから、次第に心の拠り所となる魂の故郷を求めることで、過去へと遡るのです。そして今の時代は過去の美しい魂の故郷から離れた「故郷喪失」の時代であると強く意識されるようになります。

故郷に帰りたくても帰れない今の自分を見つめ、今という「故郷喪失」の時代を生きていることは近代の大きな課題であったのです。かつて民俗学者の柳田国男は故郷に帰れず都会で位牌を抱いてさまよう孤独な老人に出会ったことを記しています。都会という異郷の地で孤独に生きる老人にとつて最後に帰るべき故郷は先祖の位牌に象徴されていました。押し寄せる近代という荒波に翻弄された石川啄木も故郷を強く意識していました。彼は出身地でのつらい思い出を「石をもて追はるがごとく ふるさとを出でしかなしみ 消ゆる時なし」と詠っています。しかしまた「かにかくに渋民村は恋しかり おもひでの山 おもひでの川」と郷愁の念も強くいだき、故郷のお国訛りが懐かしくなり上野駅にまで出かけたのです。また室生犀星は故郷金沢に居場所を見つけれない悲しみを詠っています。「ふるさととは遠きにありて思ふものそして悲し

喪失は続いています。しかも故郷喪失の中で生まれ育ったために、故郷を田舎に、あるいは古い時代に求める心さえ失われた時代となっているように思えます。それほど故郷喪失の心の病は深刻になっていくようです。今では田舎も都会も、どこでも生活は膨大な情報ネットワークの中に組み込まれています。そしてこれからの世界はグローバルイズムの名のもとに、ますます巨大化した経済産業システムが人々を支配するようになるでしょう。全世界規模の情報ネットワークの中には故郷はありません。

このような時代であるからこそ、私たちは故郷について考えてみる必要があるといえます。そして魂の拠り所となる故郷を心の中に見いだすことを心がけたいものです。

私はこのような魂の故郷とは、煎じ詰めればこの大自然の中に息づく生命活動であり、それはとりもなおさず偉大な仏さまの働きであると確信しています。老いた身に、魂の故郷は有り難いものです。

- 廣澤隆之先生のプロフィール
- 大正大学名誉教授
- 浄福寺住職

### ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。  
(敬称をすべて省略させていただきます)

#### 境内整備緑化資金

#### 寄進者芳名

(平成三十一年二月一日〜四月三十日)

中野区 黒澤 功記

府中市 青木 裕吉

日野市 水谷 圭子

日野市 田倉 康子

彦根市 西澤 政男

(三回)

#### 千体地藏尊

#### 奉安者芳名

(平成三十一年二月一日〜四月三十日)

四体 八王子市 樋口 健太郎

日野市 片野 良太郎

八王子市 森田 康裕

八王子市 金泉 志郎

町田市 川越 恋奈

町田市 角谷 政則

川崎市 村田 新一

川崎市 田みどり

#### 幟旗奉納者芳名

(平成三十一年二月一日〜四月三十日)

川崎市 村田 竜飛

川崎市 西 宏典

川崎市 西 愛美

世田谷区 佐々木 憲人

練馬区 岸田 サナエ

西東京市 阿久津 定夫

西東京市 阿久津 たつ

調布市 柴田 和男

小金井市 清水 香雲

清瀬市 沖山 順子

国立市 両角 時和

青梅市 谷 重治

二本 日野市 安川 武雄

八王子市 木村 茂代

二本 中央市 佐野 千尋

南アルプス市 謹吾紙業株式会社

市川三郷町 秋山 詔樹

日野市 岩 文夫

#### 大提灯奉納者芳名

(平成三十一年二月一日〜四月三十日)

八王子市 伊藤 民樹

八王子市 伊藤 有希子

八王子市 伊藤 鎮子

一、品名 曼珠沙華球根(五箱)

奉納者 日野市

澤田 研二

一、品名 ジュウニヒトエ(日本固有種)

奉納者 日野市

峰岸 立枝



奉納御礼 不動堂仏具



# 高幡不動尊 フォトニュース



きものクイーンコンテスト参加者の皆さん 5/11



参道を練る神輿 4/29



ずらり並んで～お稚児さんのメイク 4/28



日野市姉妹都市レッドランズ市の皆さん 3/28



日光連山が良く見えました～五重塔五層より 4/28



新選組隊士総回向法要 5/11



木遣りを唱える江戸消防記念会第九区 4/28



心静かに～大寫経会 4/27



千体地藏尊総回向法要 4/29



歳三像前で法楽～新選組まつり 5/12



新選組友の会 5/11



ロボホン新選組のパフォーマンス 5/12



おみがき～遍照講の皆さんのご奉仕 4/24

# 夏の行事案内 (六月～八月)

## ◇六月

- 1日(土) ～30日(日) 高幡不動尊あじさいまつり
- 9日(日) フリーマーケット
- 15日(土) 青葉まつり(弘法大師・興教大師)生誕慶祝法要  
法話 午後一時より 於大日堂 (聴講無料)  
法要 午後二時より 於大日堂
- 15日(土) お焚き上げ(午前九時)
- 15日(土)・16日(日) 高幡写仏会 講師 牧 宥恵先生 (下段参照)
- 16日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(金) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(金) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

## ◇七月

- 14日(日) フリーマーケット
- 15日(祝) 孟蘭盆会法要(午前六時) 於 大日堂
- 21日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(日) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(水) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(日) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

## ◇八月

- 3日(土) 俳句大会表彰式及び記念大会
- 4日(日) 短歌大会表彰式
- 15日(木) 孟蘭盆会大施餓鬼法要  
法話 午後一時より 於大日堂 (聴講無料)  
法要 午後二時より 於大日堂
- 18日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(水) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(水) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

# 高幡写仏会のお知らせ

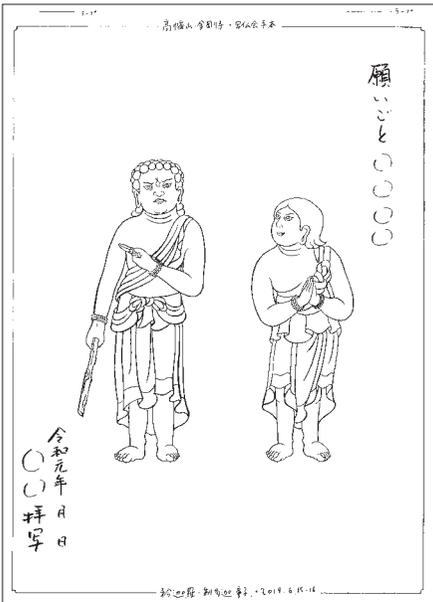
自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。  
当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授り下さい。

### 記

日時 六月十五日(土)・十六日(日)  
午後一時～午後四時(受付 正午より)  
会場 宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)  
内容 午後一時 法話  
午後二時 写仏  
午後四時 写仏奉納大護摩修行  
会費 弍千円(材料費含む)  
お申込み・高幡不動尊事務局まで  
電話 〇四二―五九一―〇〇三二

# 山主の主な動静

- 3/15 声明とジャズの夕べ(市役所)
- 3/21 彼岸会・正御影供法
- 養・3/22 新選組まつり実行委
- 4/17 新選組まつり実行委
- 4/21 廣徳院(福島第一教区) 参拝
- 団・4/23 長谷部日出男画伯焼香(港区)・4/27～4/30 春季大祭国宝まつり
- 5/8 東京多摩教区研修旅行(箱根)・5/11～5/12 の新選組まつり
- 5/14 青木家・倉田家結婚披露宴(横浜)・5/16
- 5/17 職員研修旅行(鹿児島)
- 5/18 飛火野RC三十周年祝賀会(立川)・5/19 宝泉院三回忌(大導師)・神興反省会
- 5/25 責役総代会・不動堂仏具納入奉告大護摩供
- 5/28 五月大祭・観音院(宮城教区) 参拝団
- 3/1 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 京王自動車事業部研修会講師・計六回



「制吒迦童子・矜羯羅童子」  
牧宥恵先生ご染筆の写仏お手本



弁天池の蓮

◎あじさい御守授与(二体 各五〇〇円)

あじさいまつり期間限定にて色とりどりのあじさい御守を授与しております。



紫陽花  
不動香発売

一箱一、〇〇〇円  
(六・七月限定)



く 献花のおすすめく

お花講 講員の募集

当山ではお花講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名称 高幡山お花講
- 一、会費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。  
ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、花まつり、萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
  - 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
  - 一、指 導 密厳流遍照講師範
  - 一、会 費 一ヶ月 参千円(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
  - 一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
- 問い合わせ先 高幡不動尊内遍照講高幡山支部  
電話 〇四二(五九一)〇〇三二



# あじさいまつり諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
- 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観……………(毎日)
- 茶庭拝観……………(毎日)
- 五重塔無料休憩所開設(百五十名収容)(午前九時～午後四時)……………(毎日)
- 薄茶接待……………六月中の水曜・木曜・金曜日
- 六月八日～二十三日の土曜・日曜(午前十一時～午後三時三十分)
- 少年柔剣道奉納大会……………六月二日(日)
- 日本拳法奉納大会……………六月九日(日)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止)……………六月九日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月十五日(土)
- 高幡写仏会……………六月十五日(土)・十六日(日)
- ござれ市(がらくた市)……………六月十六日(日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(金)
- 空手奉納大会……………六月二十三日(日)
- 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(月)
- ご縁日……………六月二十八日(金)

## あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部……………令和元年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

②四季の部……………平成三十年七月以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄」(縁ナシ・ワイド可)

締 切 令和元年六月三十日(日) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表及び表彰式は八月二十五日(日) 高幡不動尊客殿洋間

## あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀り作品(未発表作品に限る)

応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)

用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。

入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円

(但し記念大会参加料を含む)

投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛

(〒一九一〇〇三二)

締切 令和元年七月七日(日)まで(当日必着)

選者(肩書等略・五十音順)

俳句 大久保白村・大竹多可志・鍵和田柚子・柏田浪雅・才野 洋

笹木 弘・鈴木貞雄・鈴木節子・高橋悦男・棚山波朗

橋爪鶴磨・星野高士・矢島艶子・山崎千枝子の諸先生

短歌 大河原惇行・狩野一男・長澤ちづ・松坂 弘の諸先生

掲出 入選作は九月末まで宝輪閣又は五重塔々院に掲出する。

表彰式及び記念大会 俳句 八月三日(土) 正午開会 当季雑詠二句

記念講演 講師 俳誌玉藻主宰

星野 高士先生

短歌 八月四日(日) 一時開会 演題 『私と立子俳句』

表彰式及び講評



全国俳句大会 昨年の講演



全国俳句大会 選者の先生方



全国俳句大会 受付を担当された「春耕」嬢俳句会の皆さん



アナベル



ピンクアナベル



ヤマアジサイ綾



伊予テマリ



伊予の十字星



伊予の乱れ髪



伊予獅子手毬



沖縄コンテリギ



岩見ナデシコ



九重の王冠



九重の花吹雪



月が谷テマリ



山紫陽花紅



瀬戸の鶴姫



瀬戸の夕紅



青海



大紅



天使のえくぼ



土佐の清流



土佐小紋



土佐南風



土佐美鈴



八重カンコク山



楊貴妃



涼香



多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができま  
す。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年多勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。  
解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。  
尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。

山内八十八ヶ所  
巡りクイズ

# 春季大祭国宝まつりに参加して

大写真会 (4/27)

日野市 金子つる子  
雨上りの新緑の中、とてもすがすがしい気持ちで写経が出来ました。今回は娘が参加したいとの事、私自身とても嬉しく思い、すぐに申し込みました。

東村山市 清水 美香  
昨年に引き続き二回目の参加となりました。入院中の兄がいたため、母は少し渋ったの参加でしたが、良くなるよう祈願のために行こうよと誘いました。残念ながら写経会をむかえる前に他界してしまい供養の写経になってしまいました。

今年は何んな事が多く起った四月になってしまいました。「今生きている家族みんなが健康であるように」と願いを込めて今日一日を過ごさせて良かったです。

武蔵村山市 都筑 菊枝  
転んだことにより病院通いをしていて私です。主人から無理をしないようにと言われていましたが「高幡不動尊に絶対行きたい」との思いが強く、

参加しました。

参加出来たこと、良かったと思っっています。ありがとうございました。

世田谷区 関屋 史香  
自分で墨をすり、写経をそのあと護摩修行で写経を納めていただける……。この流れがすばらしいです。祓われ願いが叶いそう。貴重な機会をつくっていただき、ありがとうございます。

廣澤先生



廣澤隆之先生

「ことばと身体」

浄福寺ご住職

廣澤隆之先生法話 (4/27)

八王子市 川久保慶子

廣澤先生の生のご講義をお

聞きたいとズーッと思っっておりました。楽しくお聞きすることが出来ました。今日のお話しを大切にしたいと思っます。

八王子市 樋口たい子  
廣澤先生のお話はわかりやすく、これからの生活に生かしていきたいと思いました。

お経自身がおまじないである。仏様の存在を信じて般若心経を唱える。本物の言葉に出会わせていただき、更に日々精進したいと強く思いました。

町田市 松田美智子

最近、悩みが深く、この法話を聞きに来ました。「自分が」「自分が」と考えすぎていたのかと思わされました。笑いもあり、楽しく勉強になる法話でした。

国立市 松浦 悟

信仰の大切さを自らの病氣を通じて教えていただき感謝します。毎朝の取組み、参考にさせて頂きます。

相模原市 大鹿 初枝

ご縁でご法話を聞くことが出来、感謝です。どんな時にも「大きなもの」に包まれていたことを忘れないように歩みたいと思いました。

稚児行列 (4/28)

多摩市 茂呂 朋英

息子は安産祈願の際からお世話になり、今年七才でお稚児さんになりました。本人も着物を着て、特別な行事に参加できたことを喜んでおりました。

立川市 坂東 尚

初めてお稚児さんに参加しました。途中「疲れた」と言われましたが、終って「楽しかった!!」と言っていました。

府中市 矢野 凜

参列させることができ、大変光栄に思います。子供がしっかりとした姿で立っているのを見て、子供の成長を感じることができました。お不動様のもと、これからも元気に健やかに育ってくださることを願っています。

日野市 森田まゆか

やっと参加させて頂けました。良い天気で冠がキラキラしていて綺麗でした。

調布市 波谷 碧士

初めてのお化粧に戸惑いも見られましたが、着付けをしてもらって嬉しそうでした。めったに出来ない体験をさせて頂き、とても良かったです。



柳家三三師匠

藤沢市 安野 花奏

良いお天気の中、大勢の方に見守られ、とても良い経験ができました。お綱持ちという大役をやらせて頂き感謝です。

柳家三三師匠落語会

江戸家小猫師匠動物ものまね (4/28)

世田谷区 荒井 光子

小猫さんは、おじい様、お父様からのファンです。さすが江戸家さん、とても面白かったです。菌切れが良くて素敵でした。

柳家三三師匠の落語は大好きです。最近寄席に行く機会がなくなりましたが、今度は

非行ってみたいのです。  
八王子市 飯島 浩子  
江戸家小猫さんは、動物のものまねだけで沸かせて芸達者でした。

日野市 高倉 範光  
毎年楽しませてもらってます。今年は例年以上の盛りあがりのようで何よりです。  
立ち見でしたが充分に楽しめました。

品川区 文 宏充  
百年続く江戸家の伝統芸「ウグイスの鳴きまね」を聞きたく友人らとやって来ました。三代目、四代目猫八さんに負けず劣らず素晴しかったです。ウグイス以外の動物ものまねも本物そっくりで最高でした。

五重塔仏伝彫刻拝観 (4/28)  
日野市 飯嶋 裕子  
年に一度の貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。  
階段の壁の彫刻も素敵でした。上からの眺めも良かったです。天気にも恵まれました。また来たいです。

府中市 菅野 恵  
春の大祭日に五重塔の頂上

に登らせて頂きました。  
初めての事で大変感動致しました。昨年、一昨年と実家の親戚に不幸が有りお参り出来ず、二年越しの想いでしたので、とても嬉しく感動致しました。お天気もとても良く大変感謝致しております。残念ながら主人がいつしよに来る事が出来ませんでした。この感動を伝えます。

品川区 後潟汰永子  
初めてお参りさせて頂きました。五重塔は心の中で日頃の悪い事や良い事などを考えながら登る事が出来、下に降りた時は気持ちさがさわやかになりました。

府中市 白石 洋子  
最上階に登ることだ出来てとても良かったです。日光白根山、赤城山が見れて良かったです。

千体地藏尊総回向法要 (4/29)  
相模原市 竹越 フサ

昭和三十年代から平成最後の今日まで、元日には大護摩をお願いし、主人が亡くなった平成十一年からは千体供養に参加させて頂いて居ります。年令と共に不動様には遠のいて居りますが、なるべく足運びたいと願って居ります。



江戸家小猫師匠

子供みこし 上野 愛里  
今日は暑すぎず良い天気でした。楽しかったです。チョコレイトありがとうございます。おいしかったです。

子供みこし 中村 柘矢  
大きなかけ声を言えて良かったです。

子供みこし さいとうりん  
おみこしはおもかったです。たのしかったです。

子供みこし 中村 充花  
大きなこえを出してつかれたけど、たのしかったです。

東京都立大学名誉教授  
峰岸純夫先生講演 (4/29)

八王子市 西尾 吉忠  
大変興味深いお話をしていたで面白く拝聴いたしました。先生のお人柄から来る話術も巧みで飽きることなく楽しめました。

日野市 酒井菜穂子  
峰岸先生のお話しは素人にもわかりやすく、楽しく郷土史を知ることが出来ました。当地に数年前に転居して来た為、全く地域の知識がない為此の講演で初めて知ったことばかりです。是非、今後も続けて頂きたいと思えます。

子供みこし 村田いおり  
おみこしは重かったけど楽しかった。

日野市 安藤 恒美  
高幡不動尊の誕生についてユーマアを交えて詳細に話していただきました。時間の経過が早く感じられました。

府中市 佐藤 優磨  
こんな素晴らしい歴史があったんだなど、とてもびっくりしました。僕はまだ中学一年ですが、この様な機会を作って下さってとても勉強になりました。

八王子市 平 将人  
毎年この講演会を楽しみにしています。内容も高幡不動に関するものが多く、色々学ばせていただきました。  
講演の後の質問タイムで、よく前貫主様と議論が始まったのも良い思い出です。



峰岸純夫先生

# ひの新選組まつり

土方歳三の命日（五月十一日）にちなみ開催されるひの新選組まつりは、今年二十二回目を迎え、五月十一・十二日の両日盛大にとり行われました。

十一日は新選組隊士総回向法要、隊士コンテストが五重塔塔院大ホールにて行われ、十二日は大日堂前で出陣式、歳三像前にてミスター土方からの献花、参道にてパフォーマンスの後、旧甲州街道での大パレードが行われました。

今年は土方歳三没後一五〇年ということで隊士コンテスト修了後に前夜祭が催され、例年以上の盛りあがりをみせました。



今年のみすたー土方



たかはた北保育園のパフォーマンス



「エイ エイ オー！」出陣式



隊士コンテスト 出演の皆さん



志道塾の演武

# 山内消息

## 声明とジャズのゆうべ(3/15)

三月十五日、東日本大震災復興支援チャリティライブ「声明とジャズのゆうべ」が「忘れない・和・明日への祈り」を公演テーマに、日野市民会館大ホールで開催されました。昨年に引き続き本年も、当山職員と有志の青年僧侶が声明を、Super Red Bandのメンバーがジャズを担当しました。



声明とジャズの共演

当日は一、〇〇〇名を越す来場者があり、会場に設置された募金箱には四十万円余りが集まりました。この義援金

は石巻市のこども達の音楽活動に、との思いで集められたもので、東日本大震災で被災した石巻市の文化センター・市民会館にかわる文化ホールの建設資金として役立てられます。

(直井記)

## 花まつり法要

今年も甘茶接待が四月四日から八日まで五日間行われ、毎日多勢の方で賑わいました。

花まつり法要は、八日午前十一時から不動堂正面の花御堂前にて灌仏会の読経、続いての遍照講の皆様のご詠歌奉詠が行われました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方がお釈迦様に甘茶を灌ぎお参りをなさいました。

(清水順記)

## 奥殿燻蒸作業

四月八日～十九日まで奥殿の燻蒸作業が行われました。業務は(株)環境コントロールセンターが担当し、奥殿の展示室・収蔵庫・倉庫等全室を燻蒸、準備から安全確認まで十二日間の日程でした。

奥殿には重要文化財の丈六



誕生仏のご開帳

おります。

二人目は、佐竹智照君です。出身は、栃木県で大正大学卒業後、専修学院に入学し、当山に入寺いたしました。趣味は、野球とのこと。佐竹君は、当山で学生アルバイトの経験があり、即戦力といったところで、率先して法務に従事いただいています。

不動三尊をはじめとし、古文書を含む二万点近い文化財が収蔵されており、これまで先人によって守り受け継がれてきた貴重な文化財を虫害やカビの被害から防ぎ、後世に残す大事な作業となりました。

## ニューフェイス紹介

今春新たに四人の若い僧侶が当山に入寺しましたので、ご紹介いたします。

一人目は、松本盛仁君です。出身は、長崎県で、総本山智積院専修学院の修行を終了し、大正大学に入学、卒業後、当山に入寺しました。趣味は、

サッカーということもあり、大変機敏に法務に取り組んで

三人目は、五十嵐慈恩君です。出身は、東京都で専修学院卒業後、当山に入寺しました。趣味は、カラオケということ。読経や声明にも期待しております。更に、僧侶になる前は、システムエンジニアだったということで、当山の広報活動にも役立てていただきたいと思っております。

四人目は、森口光洞君です。出身は福岡県で専修学院卒業後、当山に入寺しました。趣味は、食べる事とのこと。四人の中で一番若いということ。よく食べて元気に法務に取り組んでおります。

四人の新しい風が山内に流れております。みんな、自覚

を持って頑張ってくれるとのことですので今後の活躍を期待ください。(手塚記)



森口光洞です



五十嵐慈恩です



佐竹智照です



松本盛仁です

### 高幡いきもの曼荼羅 ⑦

高幡不動尊の境内は自然が豊かだと言われます。もちろん歴史のあるお寺ですので、参詣の方も大勢いらつしやいます。全く手つかずの自然の状態ではありません。では何故高幡不動尊の境内にはかくも沢山の生き物達が住んでいるのでしょうか。それは人が関わることによる「共生」という状況が、生じているためだと思います。

例えばツバメは人家の軒先などに営巣し、人の出入りを利用することによって、したたかに外敵から身を守っています。世代交代する中で営々と受け継がれていく繁栄のための知恵なのです。人もまた里山という環境を創り出すことで、いろんな生き物と共存し、生活にも取り入れてきました。つまり程よく手入れされた高幡不動尊の境内は、昔ながらの里山の状態が、信仰の地であるが故に幸いにも残されているのではないのでしょうか。

生き物は存外に強い生命力を秘めています。ふと周りを見渡して、そんな生き物の姿を探してみるのも楽しいものです。



巣作りをするツバメ (大回廊にて)



サワガニ (大日堂脇)



アブラゼミの羽化 (昨年8月)

### なにげなくつかっている仏教のことば——世間(せけん)

「世間体」や「世間話」、また「世間知らず」や「世間は広いようで狭い」など、世間の語を用いた慣用句は数多くあります。一般に世間とは、世の中、身の回りの人々やこの社会を指す言葉として用いられています。

仏教では、世間は出世間と対となる言葉として使われています。すなわち世間とは、迷いや煩惱に満ちたこの俗世界のことをいい、これに対して出世間とは、この俗世間を越えて出た、煩惱を絶ち、さとりに到った仏や菩薩の境地

のことをいいます。

世間の語を用いた慣用句の多さは、わたしたちがいかにも、世間のしがらみにとらわれて生きているということの証しともいえます。

(小林靖典)



### お不動さま教えて?

ご質問 わたしは各地の寺院にお参りをし、境内の木や草花を観賞するのが好きです。境内の木や草花の中には、何か仏教と関係があると思うのですが、何も知りません。そこで仏教と関係がある植物について、是非、知りたいと思っています。どうかお不動さま教えてください。

お答え はい、お答えします。

たしかに各地の寺院には、ご住職や先人が思い思いに植えられた木や草花があり、季節毎にわたしたちの目を楽ませ、また安らぎを与えています。そこで仏教、すなわちお釈迦さまと関係が深い樹木について、見ていくことにいたします。



フワせて「憂いや悲しみの無い」樹という意味になり、それゆえ、無憂樹と漢訳されています。大地に生まれ

お釈迦さまの御生涯と特にゆかりのある木は、無憂樹(むゆうじゆ)、菩提樹(ぼだいじゆ)、沙羅樹(さらじゆ)があり、これらを総称して三大聖樹または三大靈樹と呼んでいます。

立つたお釈迦さまは、その後、七歩あゆんで右手にて天を指し、左手にて地を指して「天上天下、唯だ我のみ尊きなり、要す衆生の生老病死を度せん」(『長阿含経』)と、衆生済度の

まず無憂樹は、臨月を迎え

(次号につづく)

皆様からのお便り

所沢市 関 康伸

日頃は大変お世話になりました。山報も毎回ありがとうございます。山報には写真も多く、まるで参拝させて頂いたように思います。貫主さまの尊いお話、廣澤先生の深いお心、仏教の教え、等々ありますが、最近「高幡いきもの曼荼羅」が勉強に

なります。今後よろしくお願ひ申し上げます。

第二十二回 第二十二回

ひの新選組まつり

ミスター土方

大阪府 三宅 一美

高幡不動尊にお参りさせていただく時、優しい風が背を押してくれます。お不動様からのエールのように。手を合わせ心を落ちつかせ、お不動様に心願をお伝えし、己を律する。私の気持ちをリセット

し前に進む勇気をくれる大切な場所です。

ミスター近藤

練馬区 下地 杏莉

新選組まつりでしか会えない友人がいます。そして今ではかけがえのない友人もいます。そんな素敵な出会いがあるのが新選組まつりです。隊士として参加しても、沿道から参加しても、笑顔になれる素晴らしいおまつりです。



「観 察」  
あじさいの部 銀賞 八王子市 渡辺 邦昭



「写生のあじさい坂」  
あじさいの部 銅賞 昭島市 野武 高行

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時  
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千元也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日) 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金参千円也 金五千円也 金壹万円也

○ご縁日 毎月二十八日 (大護摩) 金参万円以上

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時 拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観 午前九時～午後四時 参拝料 二〇〇円

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

山報第107号をお届けします。紫陽花の季節になり、境内に250種余りの花が次々に咲いています。また、宝輪閣・事務局前には、鉢植・切花等の展示も行なっていますのでお楽しみください。

今号は、春季大祭の諸報告、第36回あじさいまつり、夏の行事案内を中心に編集しました。ご朱印を受けられる皆様も紫陽花見物し乍ら、ゆつくり諸堂をお参りしてみたいかがでしょうか。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 高幡山金剛寺

電話 (042) 591-0032(代) FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高徳

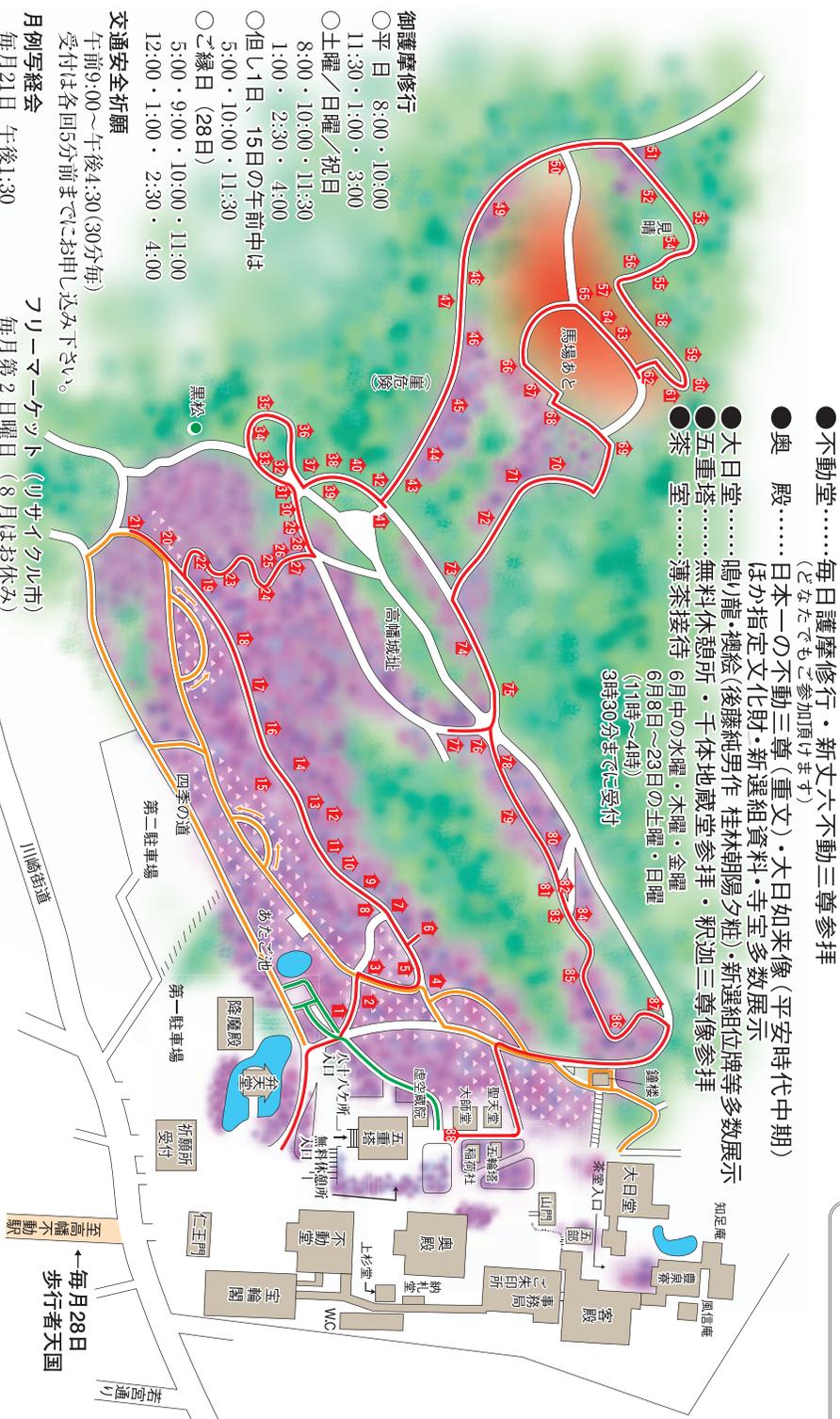
年4回発行・再生紙使用

# 高幡不動尊境内略地図

## 山内八十八ヶ所とあじさいマップ

 可憐な山あじさい (6月上旬、中旬)  
 あじさい、かくあじさい (6月中旬、下旬)  
 彼岸花 (9月中旬・下旬)

 山内八十八ヶ所巡拝路  
 四季のみち  
 あじさいのみち



**御護摩修行**  
 ○平日 8:00・10:00  
 ○11:30・1:00・3:00  
 ○土曜/日曜/祝日  
 8:00・10:00・11:30  
 1:00・2:30・4:00  
 ○但し1日、15日の午前中は  
 5:00・10:00・11:30  
 ○ご縁日(28日)  
 5:00・9:00・10:00・11:00  
 12:00・1:00・2:30・4:00

**交通安全折願**  
 午前9:00～午後4:30(30分毎)  
 受付は各回5分前までにお申し込み下さい。

**月例写経会**  
 毎月21日 午後1:30  
**千体地藏尊月例法要**  
 毎月24日 午後2:00

**フリーマーケット (リサイクル市)**  
 毎月第2日曜日 (8月はお休み)  
**ござれ市 (がらくた市)**  
 毎月第3日曜日

別格本山  
**高幡山 金剛寺**  
 〒191-0031 東京都日野市高幡733  
 電話 (042) 591-0032(代)  
 FAX (042) 593-3038

